

障がいのある方の雇用に取り組む

株式会社ヤマコー (宇治田原町)

「京都はあとふる企業」です



◆主な事業内容：プラスチック段ボール加工・販売業

障がいのある方が従事している仕事

製造部門での材料データ入力、材料のカット、熱加工、印刷、箱の組立、梱包作業など



【障がい者雇用の経過と目標】

- ・外注先で障がいのある方の活躍に接し、「健常者と障がい者は共生して仕事をしていける」と確信して、1980年から雇用を始めました。
- ・障がいのある方と一緒に働くことにより、「個々人の適正に合う仕事を考え工夫する」「安全性の確保に努める」など管理者のマネジメントスキルが向上しました。
- ・現在は従業員 73 名に対して 7 名の手帳所持者が働いていますが、障がいを個性と捉え、「個性と共に」をテーマに創業 50 周年の 2024 年には従業員 100 名に対して 20 名の会社とすることを目標としています。



【雇用において工夫していること】

- ・就労移行事業所や特別支援学校などから積極的に実習を受け入れ、トライアル雇用・採用に結びつけています。基本は無期・正社員雇用で長期の雇用をめざしています。勤続 30 年を超える社員もおります。
- ・実習・トライアル雇用で適性を見極め、配置を判断しています。機械操作を伴いますので、「安全確認」を十分にできることが重要です。機械 1 台を任せ自信を持たせるようにしています。これらが不十分な場合は、あえて 1 年契約のパート雇用(自動更新)とし継続的な援助を行っています。
- ・日常的には工程毎のグループでリーダーを中心に体調管理を行い勤務時間や残業などについて配慮しています。障害者就労支援機関とも連携しながら個々の状況に合わせて支援しています。
- ・職場や会社の懇親の場には、家族も一緒に参加してもらおうようにしています。

【Aさん(勤続1年)の声】

事務職に向いているとばかり思い込んでいましたが、実習やトライアル雇用で作業機械の操作に向いていることが分かりました。毎日楽しく働いています。

【同僚の声】

真面目でひた向きの働く姿勢に感心させられます。繊細な目で職場を見てくれ、工夫や改善のヒントをいただくことも多々あります。